

東京都立農産高等学校 令和5年度（1学年用） 教:国語 科目 現代の国語

教科: 国語 科目: 現代の国語 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 N 組

教科担当者: (N組: 赤塚、清水)

使用教科書: (104数研 現国710 新編 現代の国語 (数研出版))

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深め

科目 現代の国語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	書き手の意図をつかむ/目指す世界の地図を作る 【知識及び技能】 表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現を理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を高めるとともに、言語文化の担い手として言葉を通して他者に関わろうとする。	・言葉の働き ・話し言葉と書き言葉 ・漢字 ・語彙 ・考えの形成、記述 ・構造と内容の把握		○	○	【知識及び技能】 表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の意図や表現上の工夫を粘り強く読み取り、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査					○	○		1	
	書き手の意図をつかむ/ものづくり 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を高めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・言葉の働き ・話し言葉と書き言葉 ・漢字 ・語彙 ・話合いの進め方の検討、共有 ・表現 ・考えの形成、記述		○	○	【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を高めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	15
定期考査						○	○		1	
2 学期	対比を読み取る/水の東西 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を高めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・言葉の働き ・話し言葉と書き言葉 ・漢字 ・語彙 ・考えの形成、記述 ・構造と内容の把握		○	○	【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を高めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	14
	定期考査					○	○		1	
	コミュニケーションと言葉/世間話はなぜするか 【知識及び技能】 実社会において必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙、表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、文章や図表などに含	・言葉の働き ・話し言葉と書き言葉 ・漢字 ・語彙 ・話合いの進め方の検討、共有 ・表現 ・構造と内容の把握				【知識及び技能】 実社会において必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙、表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。				

	<p>まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	○	○	<p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>	○	○	○	18	
定期考査					○	○		1	
3 学 期	<p>話し言葉の技術/プレゼンテーション</p> <p>【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の働き ・話し言葉と書き言葉 ・漢字 ・語彙 ・話合いの進め方の検討、共有 ・表現 ・構造と内容の把握 	○	○	<p>【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>	○	○	○	16
定期考査					○	○		1	
合計									
78									

東京都立農産高等学校 令和5年度（1学年用）教科公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 N組

教科担当者：(N組：石塚 幸雄)

使用教科書：(高等学校 公共 これからの社会について考える 数研出版)

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】社会の一員としての教養と公民的知識を深め、社会参画の中で知識を活用し、新たな文化を創造する能力を養う

【思考力、判断力、表現力等】獲得した知識を現実社会で生かし、自分の頭で考え判断し行動できるようにする

【学びに向かう力、人間性等】社会の事象や問題を自分自身の問題としてとらえ、理解や課題の解決に向けて努力しようとする姿勢を養う

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
青年期における自己理解と公共的な場で物を考える上での一般的教養を理解している。	心理学、宗教、哲学、邦楽などの知識を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて他者や社会と協働して考察し構想できる。	自分自身について知り、自己の社会参画の在り方を主体的に考えようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元：青年期と自己形成 【知識及び技能】青年期の様々な定義を知る 【思考力、判断力、表現力等】自己理解を深めさせる 【学びに向かう力、人間性等】自己表現に向けて努力する力を養う	・指導事項 自己理解に向け作業プリントで動機付けをする ・教材 教科書・作業プリント、視聴覚教材	【知識・技能】青年期は自立をはかる時期であることを理解できている 【思考・判断・表現】自己形成の課題に考察ができています 【主体的に学習に取り組む態度】自己表現に向け前向きに取り組んでいる	○	○	○	13
	定期考査	未実施					0
	B 単元：哲学と宗教、伝統・現代文化 【知識及び技能】様々な思想や信仰の考え方を知る 【思考力、判断力、表現力等】様々な考え方を比較考察する思考力を養う 【学びに向かう力、人間性等】多文化に対し尊重できる姿勢を養う	・指導事項 自己理解に向け作業プリントで動機付けをする ・教材 教科書・作業プリント、視聴覚教材	【知識・技能】先哲の知恵を自己の生き方に応用できる 【思考・判断・表現】未知の異文化に適応できる能力がある 【主体的に学習に取り組む態度】伝統を受け継ぐとともに新たな文化創造を試みることができる	○	○	○	14
定期考査	知識の定着度・達成度を測定する	考査の点数	○	○		1	
2 学 期	C 単元：民主社会の基本原則 【知識及び技能】政治や法といった言葉の定義を知る 【思考力、判断力、表現力等】抽象度の高い言葉を理解できる 【学びに向かう力、人間性等】日常生活との関りに気づく	・指導事項 日常生活から法や政治に触れさせる ・教材 教科書・作業プリント、視聴覚教材	【知識・技能】政治は身近な生活に直結していることを理解できている 【思考・判断・表現】社会的課題に理解ができています 【主体的に学習に取り組む態度】公民的資質獲得に向け前向きに取り組んでいる	○	○	○	14
	定期考査	知識の定着度・達成度を測定する	考査の点数	○	○		1
	D 単元：政治思想の基礎 【知識及び技能】平等や人権など法哲学的な知識を知る 【思考力、判断力、表現力等】様々な考え方を比較考察する思考力を養う 【学びに向かう力、人間性等】他者や社会に対する関わり方を判断できる	・指導事項 図書館を使い需要語句を調べさせる ・教材 教科書・作業プリント、視聴覚教材	【知識・技能】法の知識を自己の生活に応用できる 【思考・判断・表現】法的なものの考え方を自分の思考に取りこもうとする 【主体的に学習に取り組む態度】人権や規範を尊重しようとする	○	○	○	14
定期考査	知識の定着度・達成度を測定する	考査の点数	○	○		1	
E 単元：日本国憲法の基本原則 【知識及び技能】憲法や人権の意義と意味を理解させる 【思考力、判断力、表現力等】抽象度の高い言葉と身近な場面との関わりに気づく	・指導事項 タブレットなどを使い需要語句を調べさせる ・教材 教科書・作業プリント、視聴覚教材	【知識・技能】憲法は身近な生活に直結していることを理解できている 【思考・判断・表現】人権上の課題に理解ができています	○	○	○	10	

3 学 期	【学びに向かう力、人間性等】人権や憲法を日常生活に生かす態度を養う		【主体的に学習に取り組む態度】学校生活に人権感覚を取り入れて生活する				
	F 単元: 日本の統治機構	・指導事項 作業プリントや映像教材で理解を深める活動をする	【知識・技能】行政や地方自治の知識を自己の将来の参政権に応用できる				
	【知識及び技能】国会や裁判所など権力機構の仕組みを知る 【思考力、判断力、表現力等】様々な統治機構を比較考察する思考力を養う 【学びに向かう力、人間性等】統治機構の問題点を知り、自ら解決を図ろうとする	・教材 教科書・作業プリント、視聴覚教材	【思考・判断・表現】自ら考え社会参画できる判断力がある 【主体的に学習に取り組む態度】国民投票や国政選挙において自らの意思表示ができる	○	○	○	10
定期考査	知識の定着度・達成度を測定する	考査の点数	○	○		1	
							合計
							78

東京都立農産高等学校 令和5年度（1学年用） 教:数学 科目 数学 I

教科: 数学 科目: 数学 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 N 組

教科担当者: (N組: 山本宗一, 高野雄二)

使用教科書: (数 I 708 実教出版株式会社 高校数学 I)

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	・式の見方を豊かにするとともに、整式の加法・減法・乗法、について理解を深める。	1章 数と式 1節 整式 1. 文字を含んだ式のきまり 2. 整式 3. 整式の加法・減法 4. 整式の乗法	・単項式と多項式について理解できる。 (発問評価・課題提出・定期考査) ・同類項をまとめることや、かっこを外すことを利用して、整式の加法・減法を考察できる。 ・特定の文字に着目したり、式を1つの文字で置き換えたりして、式を多面的に捉えることができる。 (発問評価・課題提出・定期考査)	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	・公式などを利用して式の展開や因数分解を能率よく計算できるようにする。	5. 乗法公式による展開 6. 因数分解	・乗法公式や因数分解の公式の理解を深めることができる。 ・式の展開や因数分解を、公式を利用して処理することができる。 (発問評価・課題提出・定期考査) ・式の展開と因数分解の相互の関係がわかる。 (発問評価・課題提出・定期考査) ・式の展開や因数分解に関心を持ち、目的に応じて式を変形しようとしている。 ・数の計算に乗法公式や因数分解の公式が利用できることに興味を持ち、その計算に公式を利用しようとしている。 (授業態度・課題提出)	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

東京都立農産高等学校 令和5年度（1学年用） 教:理科 科目 科学と人間生活

教科: 理科 科目: 科学と人間生活 単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 N組

教科担当者: (N組: 外山 秋沙 ・ 喜多村 信代)

使用教科書: (2東書 科人701 東京書籍「科学と人間生活」)

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 科学と人間生活 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用 【知識及び技能】 生命の科学について、微生物の働きを人間生活と関連付けて理解するとともに、それらに関する観察、実験などの技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 微生物とその利用について、観察、実験などを通して探究し、微生物とその利用の特徴を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 微生物とその利用に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	身のまわりの微生物 生態系における微生物のはたらき 窒素と微生物のはたらき 水中の微生物のはたらき 微生物の発見の歴史 食品と微生物	【知識・技能】 生命の科学について、微生物の働きを人間生活と関連付けて理解しているとともに、それらに関する観察、実験などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 微生物とその利用について、観察、実験などを通して探究し、微生物とその利用の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 微生物とその利用に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用 【知識及び技能】 生命の科学について、微生物の働きを人間生活と関連付けて理解するとともに、それらに関する観察、実験などの技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 微生物とその利用について、観察、実験などを通して探究し、微生物とその利用の特徴を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 微生物とその利用に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	発酵のしくみ 医薬品と微生物	【知識・技能】 生命の科学について、微生物の働きを人間生活と関連付けて理解しているとともに、それらに関する観察、実験などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 微生物とその利用について、観察、実験などを通して探究し、微生物とその利用の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 微生物とその利用に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	2編 物質の科学 2章 衣料と食品 【知識及び技能】 身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらに関する観察、実験などの技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 衣料と食品について、観察、実験などを通して探究し、衣料と食品の特徴を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 衣料と食品に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	繊維の種類と性質 生物からつくられる天然繊維 石油からつくられる合成繊維	【知識・技能】 身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらに関する観察、実験などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 衣料と食品について、観察、実験などを通して探究し、衣料と食品の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣料と食品に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
定期考査				○	○		1
	2編 物質の科学 2章 衣料と食品 【知識及び技能】 身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について、日常	体に必要な栄養素 脂質の性質 炭水化物の性質 タンパク質の性質	【知識・技能】 身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらに関する観察、実験などの技能を身に付けている。				

	生活と関連付けて理解するとともに、それらに関する観察、実験などの技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 衣料と食品について、観察、実験などを通して探究し、衣料と食品の特徴を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 衣料と食品に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		【思考・判断・表現】 衣料と食品について、観察、実験などを通して探究し、衣料と食品の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣料と食品に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
2 学 期	3編 光と熱の科学 1章 光の性質とその利用 【知識及び技能】 光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらに関する観察、実験などの技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 光の性質とその利用について、観察、実験などを通して探究し、光の性質とその利用の特徴を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 光の性質とその利用に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	光の進み方とその見え方 光の波としての性質① 光の波としての性質②	【知識・技能】 光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらに関する観察、実験などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 光の性質とその利用について、観察、実験などを通して探究し、光の性質とその利用の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 光の性質とその利用に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	3編 光と熱の科学 1章 光の性質とその利用 【知識及び技能】 光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらに関する観察、実験などの技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 光の性質とその利用について、観察、実験などを通して探究し、光の性質とその利用の特徴を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 光の性質とその利用に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	さまざまなスペクトル 光の3原色と色 電磁波の利用① 電磁波の利用②	【知識・技能】 光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらに関する観察、実験などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 光の性質とその利用について、観察、実験などを通して探究し、光の性質とその利用の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 光の性質とその利用に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	7
	4編 宇宙や地球の科学 1章 太陽と地球 【知識及び技能】 太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらに関する観察、実験などの技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 太陽と地球について、観察、実験などを通して探究し、太陽と地球の特徴を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 太陽と地球に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	太陽と月がつくる暦 海水面の変動と潮の満ち干がもたらす力 太陽の放射エネルギー	【知識・技能】 太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらに関する観察、実験などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 太陽と地球について、観察、実験などを通して探究し、太陽と地球の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 太陽と地球に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	4編 宇宙や地球の科学 1章 太陽と地球 【知識及び技能】 太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらに関する観察、実験などの技能を身に付けている。	太陽がつくる大気と海洋の循環 1年を通じた大気の運動と気象災害	【知識・技能】 太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらに関する観察、実験などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 太陽と地球について、観察、実験などを通し				

3 学 期	<p>験などの技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 太陽と地球について、観察、実験などを通して探究し、太陽と地球の特徴を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 太陽と地球に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>		<p>て探究し、太陽と地球の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 太陽と地球に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	7	
	<p>5編 課題研究 【知識及び技能】 これからの科学と人間生活との関わり方について認識を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 これからの科学と人間生活との関わり方について、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 これからの科学と人間生活との関わり方に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p>	<p>課題や仮説の設定、検証計画の立案 観察・実験などの実施、結果の整理と考察 レポートの作成、発表、振り返り</p>	<p>【知識・技能】 これからの科学と人間生活との関わり方について認識を深めている。 【思考・判断・表現】 これからの科学と人間生活との関わり方について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 これからの科学と人間生活との関わり方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	12	
	定期考査			○	○		1	
							合計	78

東京都立農産高等学校 令和5年度（1学年用） 教:保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 N組

教科担当者: (N組: 佐藤・井上)

使用教科書: (現代高等保健体育 50大修館 保体701)

教科 保健体育 の目標:

- 【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
体の動かし方や用具の操作方法などの具体的な知識と、運動を通して各領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを深く味わ得るようにする。	多くの運動の中から、自らに適した領域を選択し、卒業後も運動やスポーツに多様な形で関わるができるようにするために、「する、みる、支える、知る」の視点から自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的に解決したり、新たな課題の発見につなげたりすることができるようになる。	公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとする事ができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	A 体づくり運動 【知識及び技能】 運動を行うための体力を高める方法を学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることを学習する。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることを学習する。	・オリエンテーション ・体ほぐし運動	【知識・技能】 体力の構成要素として筋力・瞬発力・持久力・調整力・柔軟性があり、それらを理解している。 【思考・判断・表現】 仲間との話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。	○	○	○	6
	B 球技種目 【知識及び技能】 各種目の基礎基本の技ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることを学習する。	・ソフトボール ・バレーボール	【知識・技能】 ・ソフトボール: 送球 捕球 【思考・判断・表現】 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為、行動ができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。	○	○	○	10
2 学 期	B 球技種目 【知識及び技能】 各種目の基礎基本の技ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることを学習する。	・バスケットボール	【知識・技能】 ドリブル パス シュート 【思考・判断・表現】 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為、行動ができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。	○	○	○	16
		・バドミントン	【知識・技能】 サーブ ヘアピン ハイクリアー スマッシュ 【思考・判断・表現】 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為、行動ができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。	○	○	○	17
3 学 期	B 球技種目 【知識及び技能】 各種目の基礎基本の技ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることを学習する。	・サッカー	【知識・技能】 パス ドリブル シュート 【思考・判断・表現】 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為、行動ができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。	○	○	○	8
	C 持久走 【知識及び技能】 目標タイムを達成するペース配分を自己の体力に合わせて設定し、維持して走るようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることを学習する。	・シャトルラン ・縄跳び	【知識・技能】 ・自己で設定した目標タイムを超えることができる。 【思考・判断・表現】 ・自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。	○	○	○	8
							合計

東京都立農産高等学校 令和5年度（1学年用） 教科保健体育 科目 保健

教科：保健体育

科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 N組

教科担当者：（N組：佐藤）

使用教科書：（「現代高等保健体育」（50 大修館 保体701））

教科 保健

の目標：

- 【知識及び技能】個人及び社会生活における、健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、目的や状況に置応じて他者に伝える力を身に付けることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を身に付けることができる。

科目 保健

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会と健康について理解している。 ・健康の考え方 ・現代の感染症とその予防 ・生活習慣病などの予防と回復 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・精神疾患の予防と回復	現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。	現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元「健康の考え方」 健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることを理解できるようにする。	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた	さまざまな健康の考え方について例をあげて説明することができる。 わが国の健康水準の変化とその背景について理解できる。 わが国の現在の健康問題について例をあげて説明できる。	○	○	○	3
	単元「生活習慣病などの予防と回復」 がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病のリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養および睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続ける必要があることを理解し個人の対策を考える。	生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康	生活習慣病の種類と要因について説明できる。 生活習慣病の一次予防、二次予防について例をあげて説明できる。 がんの種類や原因について説明できる。 がんの一次予防と二次予防について例をあげて説明できる。	○	○	○	6
	単元「喫煙・飲酒・薬物乱用と健康」 喫煙による健康問題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、および法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることを理解できるようにする。	喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康	喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。 飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる。 薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
2 学期	単元「精神疾患の予防と回復」 精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となることを捉える。うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などの精神疾患は、誰もが罹患しうることを理解できるようにする。	精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復	精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる。 精神疾患を予防する方法について説明できる。 精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる。	○	○	○	7
	単元「現代の感染症とその予防」 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いがみられることを理解できるようにする。 性感染症・エイズの予防には、個人の行動選択や社会の対策が重要であることを捉える。	現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり	感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。 新興感染症と再興感染症が流行する要因をそれぞれ説明できる。 感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる。 性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について説明できる。	○	○	○	8
	定期考査						1
3 学期	単元「安全な社会づくり」 事故は、地域、職場、家庭、学校などさまざまな場面において発生していることを理解できるようにする。 交通事故には補償をはじめとする法的責任などが生じることを捉える。	事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全	事故の実態と被害の実態について説明できる。 安全のために必要な個人の行動について例をあげて説明できる。 交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。 交通事故における責任を3つに分けて説明できる。	○	○	○	4
	単元「応急手当」 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりできることを理解できるようにする。日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを捉える。	応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法	応急手当の意義について説明できる。 傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントをあげることができる。 実際に、日常的なけがや熱中症の応急手当ができる。 心肺蘇生法の方法と手順について説明できる。	○	○	○	4
	定期考査						1

東京都立農産高等学校 令和5年度（1学年用） 教:芸術 科目 音楽 I

教科: 芸術 科目: 音楽 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 N 組

教科担当者: (N組: 門倉光太郎)

使用教科書: (17教出 音 I 7 0 1 教育出版 音楽 I Tutti+)

教科 芸術 の目標:

【知識及び技能】芸術に関する各教科の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
様々な表現形態による歌唱表現、器楽表現の特徴について理解し、身体、楽器の使い方の技能、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、表現する。併せて文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、伝統音楽の種類と特	音色、リズム、旋律を知覚し、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図を持たせる。	音楽を歌唱、器楽、鑑賞と様々な視点から捉えようとするに関心を持ち、主体的・協働的に音楽と触れ合い、それを通して心の豊かさを養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創	鑑賞					
1 学 期	親しみやすいJ-POPの歌を楽しみながら高校の音楽学習への意欲を養う。 自分にとっての音楽の存在を再認識するとともに様々な音楽に自ら積極的に関わり、音楽を幅広く様々な視点から捉えようとする態度を養う。	少年時代 君に届くまで 優しいあの子 小さな空 歌声づくりのエクササイズ 音楽経験アンケート（自作教材）	○				行動観察、実技試験	○		○	8
	日本語の抑揚や間、語感、歌詞としてのまとまりが旋律の流れやフレーズにどのように表され、曲想を生み出しているかに関心を持ち、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。	夏の思い出 この道 浜辺の歌 椰子の実 歌声づくりのエクササイズ	○				行動観察、実技試験		○	○	9
	ベートーヴェンの交響曲を通して、オーケストラの響きや、ソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりするおもしろさを味わいながら聴く。	交響曲第5番から第1楽章 交響曲第6番「田園」から第1楽章				○	作業物提出	○		○	3

東京都立農産高等学校 令和5年度（1学年用） 教:芸術 科目 書道 I

教科: 芸術 科目: 書道 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 N 組

教科担当者: (N組: 松岡

使用教科書: (17教出 書 I 704 教育出版 書道 I)

教科 芸術 の目標:

【知識及び技能】芸術に関する各教科の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとりたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書をおして心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			漢 仮	漢	仮							
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・用具、用材の特徴と表現効果の関わりを理解する。 楷書の古典の線質、字形、構成など要素と表現効果、そして中国の文字と書の伝統と文化について理解する。 ・楷書の古典の書風に即した用筆、運筆、字形、全体構成を工夫する。 楷書の古典や臨書した作品の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わう。 ・楷書の古典の特質に基づく幅広い表現を通し、書に対する感性を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペン習字の基礎 ・唐の四大家 	○	○		○	<知識・技能> ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。【知識】 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身につけ、表している。【技能】	○	○	○	7	
		<ul style="list-style-type: none"> ・九成宮醜泉銘 			○		○		○	○	○	7
		<ul style="list-style-type: none"> ・雁塔聖教序 				○		<思考・判断・表現> ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとりたりしている。	○	○	○	7
		<ul style="list-style-type: none"> ・孔子廟堂碑 				○		<主体的に学習に取り組む態度> ・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	○	○	○	7
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の古典の書風に即した用筆、運筆や線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。 ・行書の古典に即した全体構成に工夫する。 ・行書の古典の良さや美しさを感じ、書に関する感性を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・蘭亭序 ・風信帖 					<評価方法> ・活動の様子 ・ワークシート ・提出作品	○	○	○	15	
		<ul style="list-style-type: none"> ・祭姪稿 				○			○	○	○	14
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の字源を理解する。仮名の線質、特に繊細さの表現技能を身に付ける。 ・仮名の書の多様な表現を身に付ける。 ・日本の伝統式書式に興味を持ち、特性を主体的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名 ・変体仮名 						○	○	○	11	
		<ul style="list-style-type: none"> ・蓬萊切 ・高野切 					○		○	○	10	
											78	

東京都立農産高等学校 令和5年度（1学年用） 教:情報 科目 情報 I

教科: 情報 科目: 情報 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 N 組

教科担当者: (N組: 加々美 信一)

使用教科書: (116日文 日本文教出版 情711・712 情報 I 図解と実習)

教科 情報 の目標:

- 【知識及び技能】: 基本的なコンピュータの操作方法および効率的な作業を行うための基本的な操作技能を習得している。
: 情報分野に関連する条約・法律等について正しい知識を習得し、正しく運用することができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】: 情報関連の法律や条約についての知識を用いて正しい判断をすることができる。
: 状況や対象に応じた表現方法を用いて適切に表現することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】: 基本的な情報処理スキルを培い、既習の表現技法や知識を活用した表現ができるようになる。
: 思考法を活用しより効率的に改善・評価したり、新たに作り出す等の独創性や発想力を養う。

科目 情報 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・ 基本的なコンピュータの操作方法および効率的な作業を行うための基本的な操作技能を習得している。 ・ 情報分野に関連する条約・法律等について正しい知識を習得し、正しく運用することができる。	・ 情報関連の法律や条約についての知識を用いて正しい判断をすることができる。 ・ 状況や対象に応じた表現方法を用いて適切に表現することができる。	・ 基本的な情報処理スキルを培い、既習の表現技法や知識を活用した表現ができるようになる。 ・ 思考法を活用しより効率的に改善・評価したり、新たに作り出す等の独創性や発想力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【1】 情報モラル 【知識及び技能】 情報社会におけるモラルやマナー、法律について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報モラルを遵守した表現をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 禁止や著作権法違反を起こさないよう判断して行動できる。	・ 指導事項 情報社会における法律、マナー 個人情報 知的財産権 ・ 教材 教科書、プリント	【知識・技能】 インターネットを利用する際を守るべき決まり事について理解している。 【思考・判断・表現】 法律が社会の変化に対応できていない例を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報モラルを身につけようとしている。	○	○	○	8
	【2】 メディアとコミュニケーション 【知識及び技能】 情報の性質、各メディアの性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 場面に応じて使用するメディアを適切に選ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報の信ぴょう性について、メディアの性質や特徴を理解した上で判断しようとする。	・ 指導事項 各種メディアの特徴と活用法 情報の信ぴょう性 ・ 教材 教科書、プリント	【知識・技能】 情報やメディアの特性を理解している。 【思考・判断・表現】 伝える情報に対して適切な表現メディアを判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報やメディアの特性を理解しようとしている。	○	○	○	8
	【3】 情報デザイン 【知識及び技能】 情報をデザインする手法およびその意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報デザインの各手法を用いた表現方法について、知識を活用し表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 簡潔化、可視化、構造化の各手法における、特徴や利点、欠点について考察しようとする。	・ 指導事項 デザインの基本 各デザインの利点と欠点 ・ 教材 教科書、プリント	【知識・技能】 情報デザインの方法を理解している。 【思考・判断・表現】 情報を可視化して表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学校のWebサイトの階層構造を調べようとしている。	○	○	○	9
	【4】 情報のデジタル化 【知識及び技能】 コンピュータ上で扱われる情報がどのようにデジタル化されるのか、アナログ情報がどのようにデジタル情報に変換されるのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 デジタル情報がどのような形で表現されているの理解し、活用方法について理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 即変換の際に行われる処理とそれによって作られるデータの品質について関係性を理解し、計算方法について考察しようとする。	・ 指導事項 デジタルデータの特徴と2進数 数値、文字のデジタル化 音、画像、動画のデジタル化と圧縮 ・ 教材 教科書、プリント	【知識・技能】 デジタルとアナログの違いを理解している。 デジタル化の方法について理解している。 【思考・判断・表現】 情報のデジタル化の利点を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報のデジタル化の関係性について考えようとしている。	○	○	○	7
2 学 期	【1】 コンピュータのしくみ 【知識及び技能】 コンピュータを構成する機器、ソフトウェアの構成について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータ内では電気信号および磁気で行われている論理演算、二進数処理を数学的現象を用いて表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータを構成する要素において、目に見えない部分の働きについて考察しようとする。	・ 指導事項 コンピュータの基本構造 演算のしくみ ・ 教材 教科書、プリント	【知識・技能】 コンピュータの仕組みを理解している。 【思考・判断・表現】 身の回りにはコンピュータが入っている製品を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータの仕組みに興味を持とうとしている。	○	○	○	9
	【2】 アルゴリズムとプログラム 【知識及び技能】 アルゴリズムとその表現方法、実際に作業を行うプログラムとの関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムをフローチャート図やプログラムの形に変換し表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現実にある問題について、プログラムにできるまで分解・整理して単純化する手順について考察しようとする。	・ 指導事項 アルゴリズムの基本構造 プログラミング ・ 教材 教科書、プリント	【知識・技能】 アルゴリズムを表現する方法を理解している。 プログラムの構造を理解している。 【思考・判断・表現】 アルゴリズムを考察することができる。 プログラムに表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アルゴリズムを考案しようとしている。 プログラミングをしようとしている。	○	○	○	10
	【3】 モデル化とシミュレーション 【知識及び技能】 モデル化およびシミュレーションについてどのような手法があり、どのように活用されているか理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各モデルの特徴と表現できるものについて理解し、どの手法を使用すればよいか適切に判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実際の事例を用いてシミュレーションを行い、問題の最適解を求める手順や方法について考察しようとする。	・ 指導事項 モデル化と問題解決 ・ 教材 教科書、プリント	【知識・技能】 モデル化の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 モデルを使ったシミュレーションを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 モデル化とシミュレーションをしようとしている。	○	○	○	8
3 学 期	【1】 情報通信ネットワーク 【知識及び技能】 コンピュータネットワークの全体とそれを構成する機器、ネットワーク構成について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ネットワークを構成する仕組みについて考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ネットワーク上で使用される技術や規格について興味、関心を持つ。	・ 指導事項 ネットワークのしくみ ・ 教材 教科書、プリント	【知識・技能】 インターネット接続について理解している。 【思考・判断・表現】 インターネットの今後の利用について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ネットワークの仕組みについて興味を持とうとしている。	○	○	○	7
	【2】 情報システムとデータベース 【知識及び技能】 社会の中にある情報システムで活用されるデータベースについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 データの種類に応じたデータモデルについて考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 実社会の中で活用されるデータベースについて興味、関心を持つ。	・ 指導事項 データベース データ形式とデータモデル ・ 教材 教科書、プリント	【知識・技能】 データベースがどのように活用されているか理解している。 【思考・判断・表現】 電子マネーで支払ったときの利点について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 蓄積したデータを活用しようとしている。	○	○	○	6
	【3】 データの活用 【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識・技能】				

<p>データの収集、情報の整理、整理した情報の活用方法について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 収集されたデータに応じた処理・集計方法を判断できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 収集・処理・集計された情報をもとにデータが示すことさらに考察することができる。</p>	<p>データの収集と分析</p> <p>・教材</p> <p>教科書、プリント</p>	<p>データを収集して可視化する技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 データを分析して表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決のために、データを収集し、分析し、結果を表現しようとしている。</p>	○	○	○	<table border="1"> <tr> <td>6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>78</td> </tr> </table>	6	合計	78
6									
合計									
78									

